

薩摩

広報



さつませんだい



2025(令和7)年
vol.490





おいしい給食
いただきます！



友だち募集中




自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら

出会い！ 体験！ 感動！

「てらやまんち」に行ってみよう！



少年自然の家って
どんなところ？

感動の自然

「てらやまんち」の愛称で親しまれている少年自然の家は、標高230mの寺山に位置し、シイ、タブノキなどの常緑広葉樹林やアオモジやアカメガシワなどの照葉樹林、野鳥や山野草など豊かな自然に恵まれた環境にあります。

わくわくする体験活動

「てらやまんち」では、自然体験活動や野外活動、創作活動などのプログラム、季節のイベントや家族向けのイベント。さらに、大人・シニア向けの講座など、たくさんの活動が体験できます。

- ▼自然観察活動Ⅱ天体観察、プラネタリウム鑑賞など
- ▼野外活動Ⅱ野外炊飯、自転車モトクロスなど
- ▼創作活動Ⅱ藍染め、陶芸、焼板木工など30種類以上
- ▼季節や家族向けのイベントⅡ子どもの日フェスタ、ファミリー自然体験隊、新年を迎える手作りのつどいなど
- ▼大人やシニア向けのイベントⅡ森の学校など

最高の景色

九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道の車両が走行する姿や、雄大な流れの川内川などを見ることが出来ます。また、夜景の美しい市街地や満点の星空も見ることが出来ます。



▲寺山から見た市街地



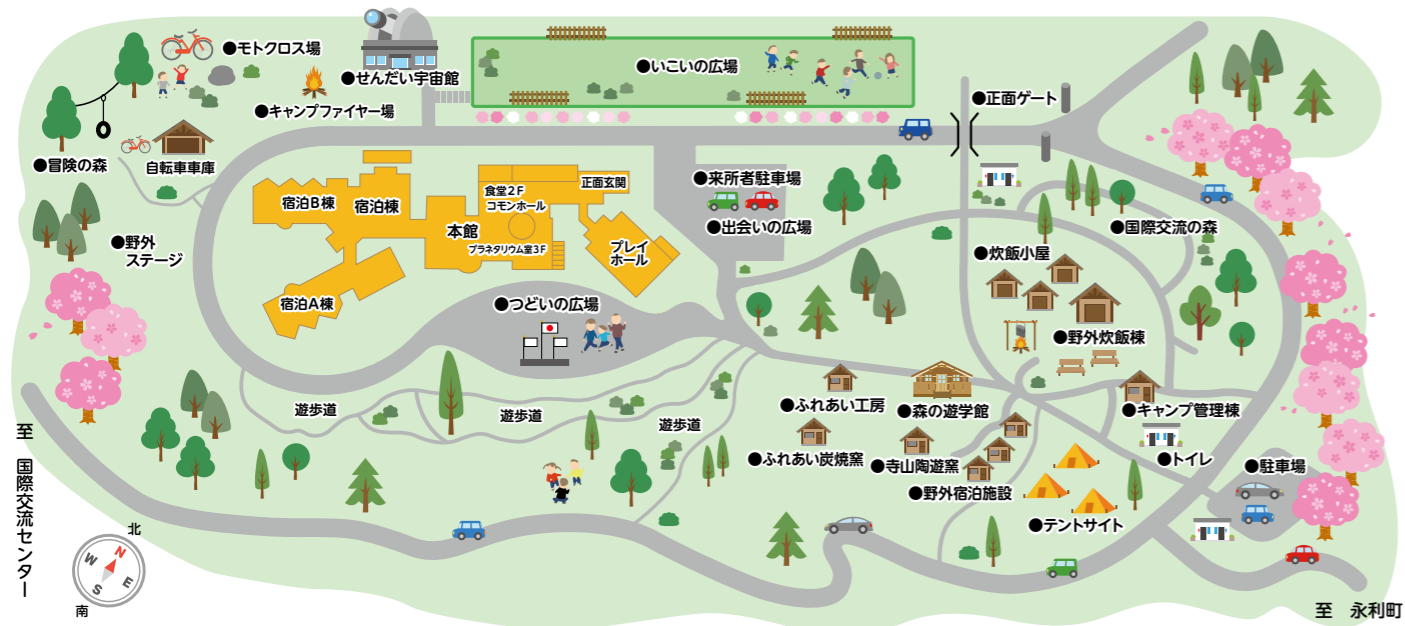
▲親子教室の様子



野外炊飯・その他施設



本館・プレイホール・宿泊棟



野外活動施設



キャンプ・野外宿泊施設

★誰が利用できるの？

研修を目的とする5人以上の団体であれば、利用が可能です。

※営利目的は不可

例：保育園(保育所・認定こども園・地域型保育事業)、幼稚園、学校、PTA、スポーツ少年団、子ども会、部活動、家族、企業など

★利用申込と料金は？

事前に利用希望日と活動内容を相談して使用許可申請書を利用日の20日前までに提出してください。

主な使用料

研修施設	1人1研修	高校生以下 各100円	一般 各150円
宿泊棟	1人1泊		
テント	1人1泊		
野外宿泊施設			
寝具	1人1セット		

※宿泊棟・野外宿泊施設の空調整備(エアコン)は、1時間100円のコインタイマー式です。
※活動に伴う経費(材料代など)については、事前にお問い合わせください。

※少年団体については、研修施設使用料などが免除されます。

参加者の声

【集団宿泊学習で利用】

さまざまな活動を通して、協力や時間の大切さなどを学び、成長することができました。

【冬のアドベンチャーで利用】

二泊三日で何度か自分に負けそうになることがあります。しかし、みんなと協力して過すことで、乗り越えることができました。



▲夏のアドベンチャーで甑島の海を楽しむ様子

「てらやまんち」は、子どもたちが困難に挑み、自信を深める場、豊かな自然を感じて感動する場、人との交流の場、家族の触れ合いの場、生きがいづくりの場です。「てらやまんち」でさまざまな体験をしてみませんか。各イベントや利用する際に必要な申請書など、詳しくは、少年自然の家ホームページをご確認ください。



▲少年自然の家ホームページ



▲少年自然の家地図

問合先／少年自然の家
☎(29)2114

＼ 行こうよ! ／



図書館へ



▲図書館
ホームページ

令和7年度の移動図書館車巡回日程は下表のとおりです。
※利用の際は、図書館利用者カードが必要です。
(カードは、巡回場所で作成の手続きができますので、マイナンバーカードや運転免許証、健康保険証など、本人確認ができるものをお持ちください。)



巡回日/毎月1回
貸出期間/次の巡回日まで
貸出冊数/10冊まで

移動図書館車
が巡回します

本土区域一般コース

巡回場所および予定時間 問合せ/中央図書館 ☎(22)3542			巡回日											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	和光園	さとのもり保育園												
	9:30～9:45 ⇨	9:50～10:10 ⇨	10:20～10:40											
午後	樋脇公民館	センノオト												
	⇨ 11:40～11:55 ⇨	12:15～12:40												
自衛隊官舎			勝目団地			九電平佐住宅			第3木曜日					
14:20～14:40 ⇨			15:00～15:20 ⇨			15:40～16:00								

甑島区域巡回コース

地域	巡回場所および予定時間 問合せ/里分館(里教育駐在) ☎09969(3)2311、上甑分館(甑島教育課) ☎09969(2)0031 下甑分館(下甑教育駐在) ☎09969(7)0311、鹿島分館(鹿島教育駐在) ☎09969(4)2211				巡回日											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下甑・鹿島	海星中学校	かのこ幼稚園	敬老園バス停	薬師市営住宅	11日	9日	6日	4日	5日	3日	7日	5日	9日	6日	6日	
	13:10～13:30 ⇨ 14:40～15:00 ⇨ 15:15～15:45 ⇨ 15:55～16:20				金曜日											
	手打小学校	西山地区コミュニティセンター			14日	12日	9日	7日	8日	6日	10日	8日	13日	9日	9日	
	13:10～13:40 ⇨ 14:30～15:00				月曜日											
上甑	長浜小学校	鹿島公民館			15日	13日	10日	8日	9日	7日	11日	9日	14日	10日	10日	
	12:50～13:20 ⇨ 14:30～16:00				火曜日											
里	中津小学校	甑島振興局			16日	14日	11日	9日	10日	8日	12日	10日	15日	12日	11日	
	13:10～13:40 ⇨ 14:00～16:00				水曜日											
里	里中学校	里小学校	里公民館		17日	15日	12日	10日	11日	9日	13日	11日	16日	13日	12日	
	12:55～13:10 ⇨ 13:15～13:45 ⇨ 14:00～15:30				木曜日											

※8月は巡回しません。

※悪天候やその他の事情により巡回日を変更または中止する場合があります。
※到着時間が多少遅れる場合があります。
※移動図書館車で借りた本は、次回の巡回日に返却するようになっておりますので、ご協力をお願いします。

鹿児島県青少年国際協力体験事業

世界へ飛び出せ!

スタディツアー in ベトナム

参加者募集



▲市ホームページ

問合せ先=本庁産業戦略課グローバルG(内線 5771)



鹿児島県青少年国際協力体験事業とは?
県内在住の中高生を開発途上に派遣し、ホームステイや学校、施設などでの交流を通して、相互理解を深めることを目的としています。また、現地で開発途上国の国づくりに貢献している青年海外協力隊員の活動現場の視察や現地での協力活動を行い、国際協力に対する理解を深め、国際性豊かな人材の育成を目的としています。
派遣後には、活動報告会などを行うことで、学校や地元に戻元し、地域レベルでの国際化に寄与します。

令和7年度開催
スタディツアー in ベトナム
時 7月19日(土)～26日(土)
内容 ホームステイや青年海外協力隊員、NGO(非政府組織)の活動現場視察、現地住民との交流、異文化理解に役立つ施設の見学など
対象 中高生
※保護者または生徒の住所が本市であること
定員 2人
※面接などを実施
料金 25万円程度
※市が半額程度助成
申込期限 4月11日(金)必着
申込方法

スタディツアー in カンボジア体験記

令和6年度の県青少年国際協力体験事業は、カンボジアで行われ、本市からも2人が参加しました。
そこで今回は、そのスタディツアーに参加した2人にインタビューし、実際に体験したことなどを聞いてみました。

「一緒にバドミントンしよう!」。カンボジアでのホームステイ4日目の出来事でした。現地の小学生に突然声を掛けられ、一緒に遊ぶことになりました。
その間、公用語であるクメール語で会話をしましたがあまり通じませんでした。しかし、言葉が通じなくても別れる頃にはすっかり仲良くなり、子どもたちが家族のような存在に感じました。
この体験を通して、以前より積極的にさまざまなことに恐れず挑戦するようになりました。カンボジアでの1週間は、私の宝物です。



宝物の1週間
つるもと ななみ
鶴本七望



将来のために
きはら あかね
木原綺音

将来、国際協力に関する仕事に就きたいという思いから、今回の事業に参加しました。現地に行くまでは、先進国が開発途上国を支援するという上から目線の見方をしていました。そうではなく、互いの国の生活習慣や価値観の違いを受け入れ、協力し合い、支え合う関係こそが本当の国際協力であることを学びました。また、電化製品が十分に無く、衛生状態も決して良い環境ではなかったけれど、カンボジアの文化や生活には日本にはない良さが多くありました。
このことを周りの人にも伝えながら、夢に向かって前進していきたいと思っています。

ジェンダー・ギャップをなくしていいこう

まずは私から

あなたの周りで、性別や年齢など分りやすい属性で判断されたり、役割を決められたりすることで悩む場面はありませんか？

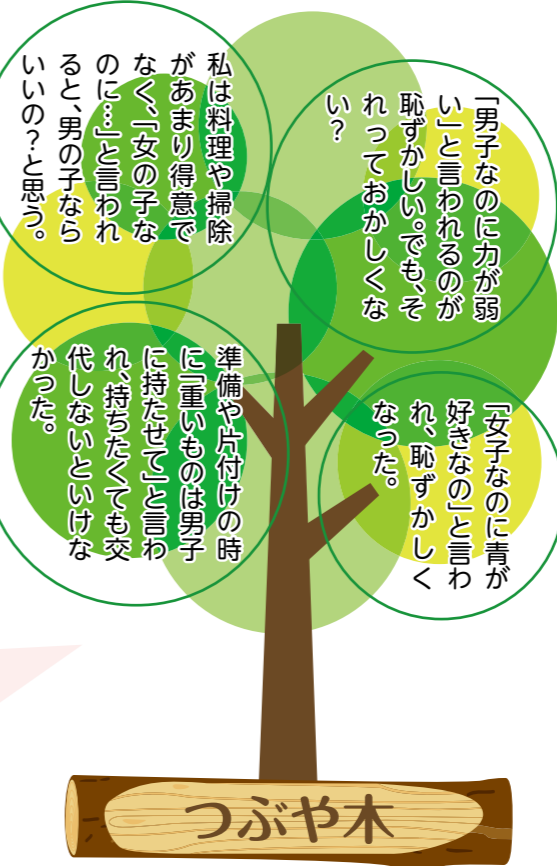
それと同時に、「なぜ？」と疑問に感じたり、仕組みや決まり事を変えたいのに変えられないと思ったりすることは無いでしょうか。

本市では、性別に関わりなく人権が尊重され、一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会「男女共同参画社会」の実現に取り組んでいます。自分の中に無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気付くことや、自分が望む生き方や働き方を叶えられる、多様な選択が可能となる地域や職場の環境づくりを進めています。



出前講座を行っています！

市内の希望する中学校で、出前講座を行っています。一人ひとりの価値観や考え方の違いを知り、「その人らしさ」に気付き、自分の考えや気持ちを言葉にすることや対話の大切さなどを学ぶワークショップを行っています。



このつばや木から、子どもたちは無意識の思い込みから出てくる言葉を、「むっしって」と感じるものがたくさんあるようです。このような言葉によって、大人になってから、「結婚・出産後は、夫は仕事、妻は家事・育児。なんとなくそうなっている」「男は家族の生活を支えるために仕事で弱音は吐けない」と重圧がかかってしまうなど、つばや木が大きくなっていくかもしれません。

社会の動きから見てみましょう

固定的な性別役割分担が前提

昭和モデル

- ・いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る世帯を前提
- ・長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行

変革

新しい生活様式・働き方

- ・若い世代を中心に、生活様式や働き方についての考え方が変化、多様化
- ・家族の姿の変化、人生の多様化
- ・単独世帯やひとり親世帯、共働き世帯の増加

令和モデル

- ・希望が満たされ、能力を最大限に発揮して仕事ができる環境の整備
- ・仕事と家事、育児などのバランスが取れた生活
- ・女性の経済的自立

（令和5年版男女共同参画白書抜粋）

近年、さまざまな世代の理想とする生き方や働き方に対する考えが大きく変化し、人生が多様化しています。性別により役割を固定的に分けて考えることが前提の「昭和モデル」から、全ての人々が希望に応じて家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」に切り替えることが求められています。

地域活動でも令和モデルに

これまでの地域活動も、男性が中心に物事を決め、女性は女性の役割としての接待や補助的な仕事などに分けられる傾向が多くありました。

地域に暮らす皆さんの家族の形や働き方、価値観が大きく変化している中、性別や年齢にかかわらず、誰もが楽しく参加でき、必要とされる活動に変えていく仕組みづくりを考えてみませんか。

「女性部」ではなく「交流推進部」に変えてみよう

そうだね、誰でも参加できるね

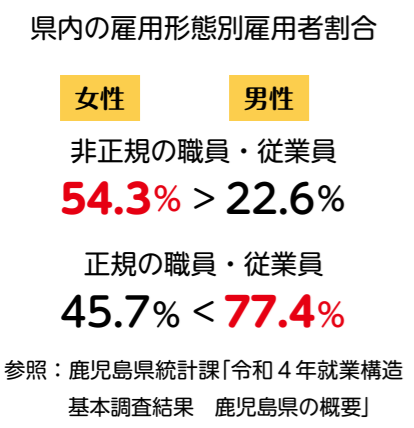
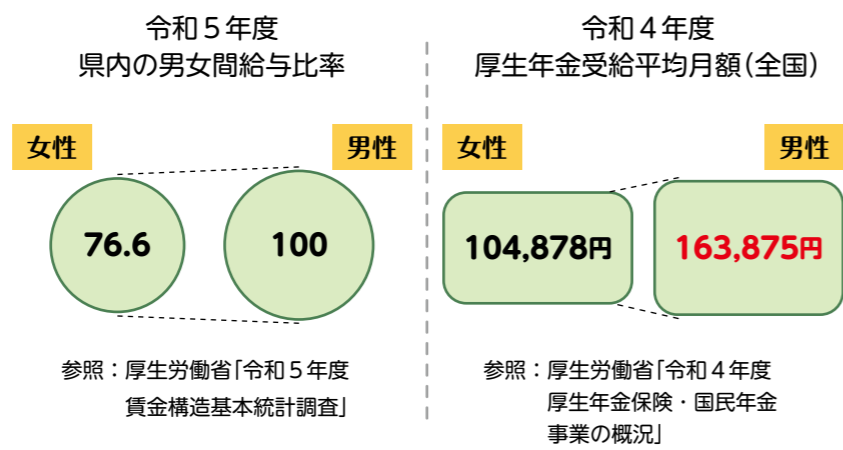
世代間交流と子育て世帯を応援する活動を一緒にやってみよう



見直しのヒント

- ・女性や若者、また、多様な生活様式にも配慮した時間帯や曜日の設定
- ・役割や性別にかかわらず、誰もが発言しやすい雰囲気づくり
- ・行事などを行う際の役割分担を性別で決めない
- ・役員の数を男女半数に近づける

数字で見る男女の差



2024年のジェンダー・ギャップ指数は世界の146カ国中118位で、依然として、主要先進国の中では最下位です。政治と経済の分野の値が低く、女性の労働人口参加率は低くないものの、管理職の割合の低さや男女間の所得格差などが影響しています。

わたしたちができること...

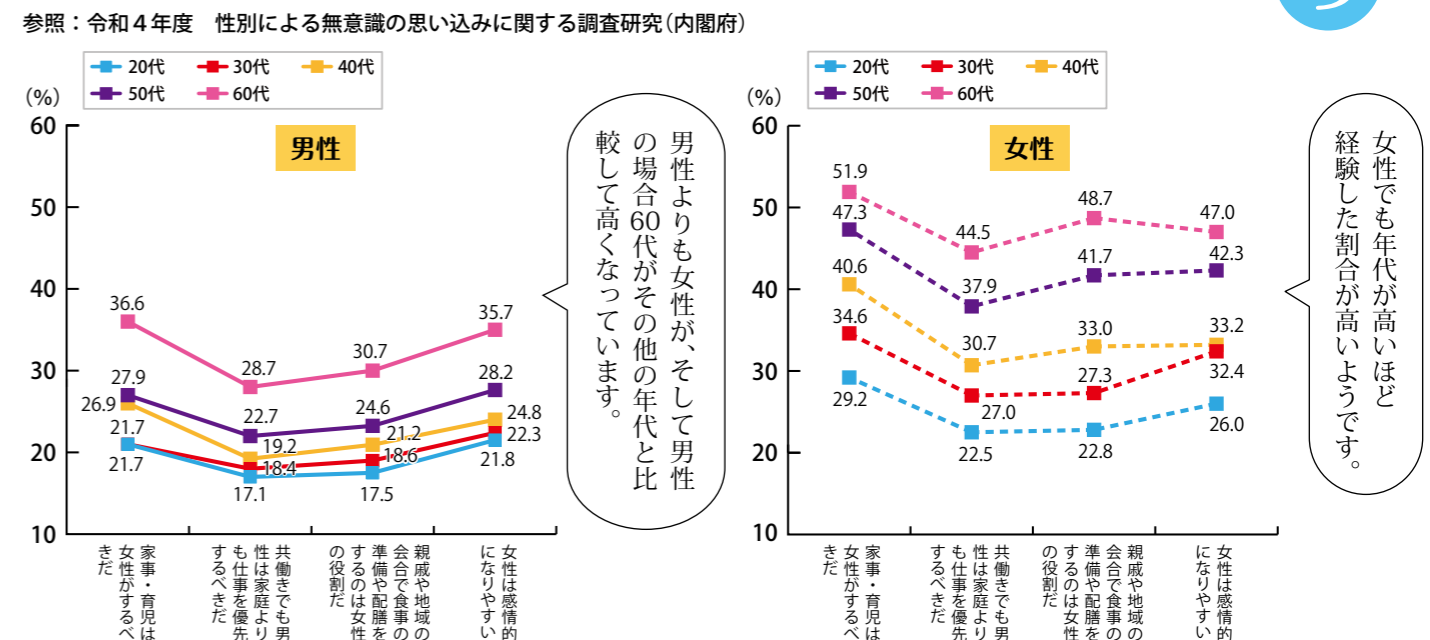
ジェンダー・ギャップを解消するために、女性に偏っている家事や育児、介護などのケア役割を、性別にかかわらず役割分担していきましょう。

あなたの身の周りにもある性別により偏っている役割に気付く、その分担を見直してみよう。そして、多様な生き方や働き方を尊重するため、子どもの頃から刷り込まれている縛られた考え方に気付く、発想を広げていくことが大切です。

誰もが多様な生き方を選択でき、自分らしく活躍できる環境を作っていきましょう。

問合せ／本庁コミュニティ課生涯学習・ひとみらい政策G（内線4741）

性別に基づく役割や思い込みを「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験<性・年代別>



女性でも年代が高いほど経験した割合が高いようです。

男性よりも女性が、そして男性の場合60代がその他の年代と比較して高くなっています。

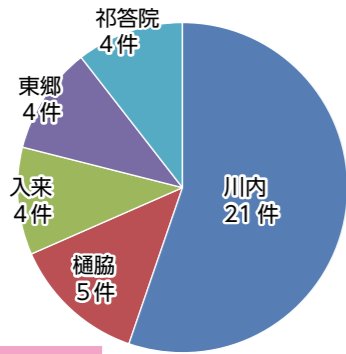
令和6年 火災・救急統計

火災件数は令和5年より4件増加し、38件でした。おおよそ10日に1件の割合で発生したことになります。火災種別は建物火災16件、林野火災4件、車両火災3件、その他火災15件でした。出火原因はグラフのとおりで、「たき火」が原因の火災が多くなっています。たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、**原則禁止**されています。また、枯草焼きなどを行う際は、火災の煙と間違わないようにするため、消防署への届出が必要です。

火災

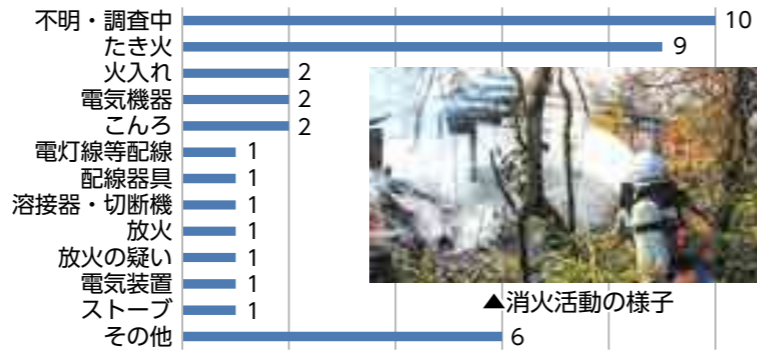
38件

地域別件数



前年比4件増

出火原因別



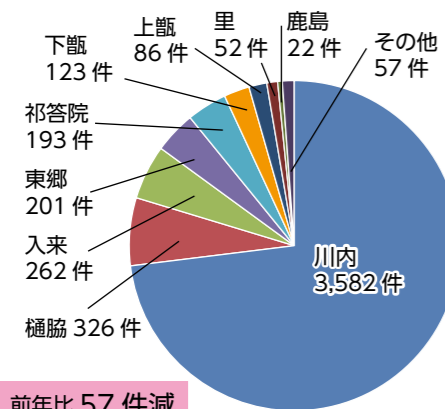
▲消火活動の様子

救急件数は令和5年より57件減少し、4,904件でしたが、市町村合併後2番目に多い件数でした。これは1日当たり約13件発生したことになります。なお、搬送人員は令和5年より34人減少し、4,308人でした。

救急

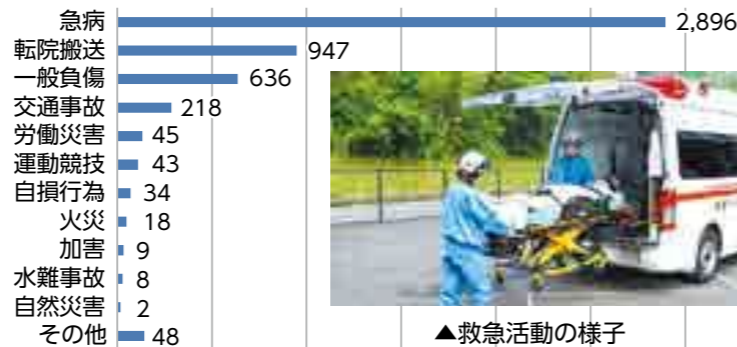
4904件

地域別件数



前年比57件減

救急事故別



▲救急活動の様子

新資機材を紹介します！「水中ドローン」



水中ドローンは、令和6年に本市在住の山室克己様より寄贈いただき、消防本部に配備し、海や川などの水難事故の際に活用しています。

本体に装着されている4Kカメラや超広角魚眼レンズ、AIの水中画像補正で、画像がより広く、鮮明に映ることで、要救助者の早期発見につながります。

水深100mまで潜ることができ、360度全方向に移動が可能になっています。また、LED照明システムが搭載されているため、これまでできなかった夜間の情報収集も可能になりました。事故発生時には当局潜水隊と連携して、救助活動にあたります。

自主防災訓練や消防訓練の計画の際は、防災研修センターをご利用ください。



人のとなりに

小林

香織さん

「人のとなりに」とは…

文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当ててを目的としています。

患者さんのケアや診療の補助などさまざまな分野で人々に寄り添い、私たちの健康を守る看護師。今回は、済生会川内病院に勤務しながら、原子力災害医療の普及に励む看護師の思いに寄り添います。

災害医療に従事

「母が保育士だったため、自分も目指そうと思ったが、看護師の資格で看護師としても保育園で働くことができるという知り、資格を取ったことが看護師になるきっかけ」と話すのは済生会川内病院に勤務する小林さん。済生会川内病院は、原子力災害時に被災地域の原子力災害医療の中心となって機能する「災害医療拠点および被災者医療機関」に指定されています。

小林さんは、被災地で適切な医療・看護提供を行う災害支援ナースや大規模な災害や事故の発生時に、被災地に迅速に駆け付け、救急医療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム(DMAT)の資格を持っています。

人生の転機

DMATの資格を取るきっかけとなったのは、平成23年3月11日に起きた東日本大震災。「同じ日本でこのような災害に遭っている人たちがいるというところに何とも言えない気持ちになった。それと同時に、何もできず何事もなく過ごしている自分に複雑な感情があった」と言います。さらに小林さんは、「もしもの時に分らないこと

があることが怖い。いざとなつた時に動揺せずに行動し、一人でも多くの人の命を救えるように学びたいと思った」と話します。

そこで、勤務先の病院の許可を得て、長崎大学大学院に入学し、災害・被災医療科学を専攻しました。大学院での2年間は仕事と家庭の両立で大変でしたが、周りの協力があつたから乗り越えることができた」と笑顔で話してくれました。



▲長崎大学病院での研修の様子

災害現場での活動を通じて

令和6年1月に発生した能登半島地震で、小林さんは石川県輪島市の病院支援に派遣されました。厳しい環境の中、看護師たちが疲弊しながら働く姿を見て、被災者でもあり、支援者でもあると感じたそうです。

原子力災害医療の普及

「仕事に励みながら、愛犬2匹と過ごし、子どもたちの夢を応援したい」と穏やかな日常を望む小林さん。

普段は病院勤務以外に、看護師や看護学生に向けて講義を行っています。「学んだことを一人でも多くの人に伝え、災害時に医療従事者の不安を軽減し、支援していきたい」と原子力災害医療の普及に対する思いを話してくれました。



▲愛犬と娘さんと写る小林さん(左)